

平成12年度北海道園芸研究談話会年次大会研究発表要旨

会期 平成12年12月4日(月)

会場 北海道大学学術交流会館

1. キュウリ *ent*-kaurene synthase cDNA 全塩基配列の決定  
○白井菊子・笠井登・増田清・大澤勝次 (北大院農) …………… 8
2. アスパラガス花器の形態と受精能  
○笠井登・小野寺理・伊藤利章・増田清・大澤勝次 (北大院農) …… 10
3. ホウレンソウ根の組織培養における不定胚形成能と雌雄性の維持  
○石崎琢磨・増田清・大澤勝次 (北大院農) …………… 12
4. ホウレンソウの収穫時間によるビタミンC含量の変化について  
○熊谷由紀・大田和樹・稲葉紀也・高林透・山崎博  
(北海道農業専門学校) …………… 14
5. 馬鈴しょ浴光育芽が収量・品質に及ぼす影響についての一考察  
○手塚悠平・竹内美恵・山崎博・山口猛彦 (北海道農業専門学校) …… 16
6. 夏秋どりいちごの栽培技術 (第1報) 芽数の調整と収量性・果実品質  
○福川英司<sup>1</sup>・中住晴彦<sup>1</sup>・阿部珠代<sup>1</sup>・川岸康司<sup>2</sup>  
(1. 道南農試、2. 花・野菜技セ) …………… 18
7. 夏秋どりいちごの栽培技術 (第2報) マルチの違いが果実品質・収量性に及ぼす影響  
○福川英司<sup>1</sup>・中住晴彦<sup>1</sup>・阿部珠代<sup>1</sup>・川岸康司<sup>2</sup>  
(1. 道南農試、2. 花・野菜技セ) …………… 20
8. 通気性被覆資材を活用したダイコンの減農薬栽培  
○小宮山誠一・中尾弘志・角野晶大 (中央農試) …………… 22
9. セルリー栽培における水管理 灌水方法の違いが芯腐れ病発生に及ぼす影響

○田村春人 <sup>1</sup> ・中野英樹 <sup>1</sup> ・斎藤寛 <sup>1</sup> ・山田恭裕 <sup>1</sup> ・本田隆俊 <sup>1</sup> ・ 相馬尅之 <sup>2</sup> ・和田洋之 <sup>2</sup> (1. 北大農附属農場、2. 北大院農) ……………	24
10. トマトセル成型苗直接定植栽培における施肥法 ○森明洋 <sup>1</sup> ・五十嵐正彦 <sup>1</sup> ・土肥精司 <sup>1</sup> ・林哲央 <sup>2</sup> (1. 石狩中部農改、2. 道南農試) ……………	26
11. ミニトマトの花数制限による量的形質の向上 ○平田修一 <sup>1</sup> ・八木亮治 <sup>2</sup> ・飯野剛 <sup>3</sup> (1. 北後志農改、2. 花・野菜技セ、3. 花・野菜技セ研修生) ……………	28
12. 大玉、中玉、小玉トマトの品質特性 ○八木亮治・平井剛(花・野菜技セ) ……………	30
13. 高品質小球メロン栽培における適正な株間及び着果数の検討 平井剛 <sup>1</sup> ・○山崎和也 <sup>2</sup> (1. 花・野菜技セ、2. 空知中央農改) ……………	32
14. メロンのハウス抑制作型におけるマルチの種類が生育・収量に及ぼす影響 ○小田義信・塩澤耕二・小野寺政行(原子力環境セ) ……………	34
15. グリーンアスパラガス品種の収量特性 ○土居晃郎 <sup>1</sup> ・中野雅章 <sup>1</sup> ・土肥紘 <sup>2</sup> (1. 花・野菜技セ、2. ㈱住友化学) ……………	36
16. アスパラガスの雌雄性と植物体各部位における糖含量の季節的变化 ○山本和香子・秋山克・笠井登・鈴木卓・大澤勝次(北大院農) ……………	38
17. キュウリのハウス栽培と露地栽培によるブルーム発生とその季節的変動 ○林敏隆・鈴木卓・大澤勝次(北大院農) ……………	40
18. ピーマンにおける整枝処理の違いが収量に及ぼす影響 ○黒島学・長尾明宣(上川農試) ……………	42
19. ピーマンにおける整枝処理の違いが作業性に及ぼす影響 ○黒島学・長尾明宣(上川農試) ……………	44

20. コマツナの品種特性  
 ○杉山裕・植野玲一郎（花・野菜技セ）…………… 46
21. クランベリーの新し木繁殖における新し枝からの発根に及ぼす新し床の種類および IBA 処理の影響  
 ○中野英樹<sup>1</sup>・田村春人<sup>1</sup>・岡田岳樹<sup>2</sup>・鈴木卓<sup>2</sup>・大澤勝次<sup>2</sup>  
 （1. 北大農附属農場、2. 北大院農）…………… 48
22. 小果樹類の繁殖技術に関する研究（第 1 報）ハイブッシュブルーベリーの  
 新し木に及ぼすジャスモン酸誘導体及びブラシノステロイドの影響  
 高橋睦（植物遺伝資源セ）…………… 50
23. フィンランドにおける小果樹ヒツポファエ・ラムノイデス研究の調査  
 石井現相（北農試）…………… 52
24. リンゴ果実におけるみつ症発生の品種間差並びにみつ症組織の特性  
 ○佐々木泰崇<sup>1</sup>・鈴木卓<sup>1</sup>・生田 稔<sup>2</sup>・堀廣孝<sup>2</sup>・大澤勝次<sup>1</sup>  
 （1. 北大院農、2. 北大農附属農場）…………… 54
25. レオメーターによるブルーベリー果実硬度と日持ち性の品質間差  
 ○西村景<sup>1</sup>・稲川裕<sup>2</sup>・村松裕司<sup>2</sup>・山口作英<sup>2</sup>  
 （1. 富良野農改、2. 中央農試）…………… 56
26. ハスカップの実生を用いたコルヒチン処理による倍数体の作出  
 ○高田真樹子<sup>1</sup>・星野洋一郎<sup>2</sup>・佐藤博二<sup>2</sup>  
 （1. 北大院農、2. 北大農附属農場）…………… 58
27. ハスカップ *in vitro* 培養体から倍数体を作成するためのコルヒチン処理条件の検討  
 ○鈴木卓・佐々木克司・大沼由理・原田隆・大澤勝次（北大院農）…… 60
28. 2000 年有珠山噴火対策（第 1 報）有珠山噴火避難による一時的な管理放棄が  
 レタス、キャベツ、ハクサイの生育に及ぼす影響  
 ○佐藤宏<sup>1</sup>・石井照江<sup>1</sup>・川口招宏<sup>1</sup>・平門隆良<sup>2</sup>・竹腰曜通<sup>3</sup>  
 （1. 西胆振農改、2. 空知中央農改、3. 道南農試）…………… 62
29. 2000 年有珠山噴火対策（第 2 報）有珠降灰が作物の発芽に及ぼす影響  
 ○松本勇<sup>1</sup>・木田ひとみ<sup>1</sup>・坂本宣崇<sup>2</sup>・有村利治<sup>2</sup>・竹腰曜通<sup>3</sup>

	(1. 西胆振農改、2. 農業改良課、3. 道南農試) ……………	64
30.	2000 年有珠山噴火対策 (第 3 報) 有珠降灰が作物生育に与える影響 ○川口招宏 <sup>1</sup> ・佐藤宏 <sup>1</sup> ・日笠裕治 <sup>2</sup> ・唐星児 <sup>2</sup> ・有村利治 <sup>3</sup> ・竹腰曜通 <sup>4</sup> (1. 西胆振農改、2. 中央農試、3. 農業改良課、4. 道南農試) ……………	66
31.	香料用青しその栽培について (第 1 報) 作期と収油量との関係 ○益村哲・宮村謙一 (遠軽農改) ……………	68
32.	香料用青しその栽培について (第 2 報) 施肥と収油量との関係について ○宮村謙一・益村哲 (遠軽農改) ……………	70
33.	アルストロメリアのカルスからの植物体再生系の検討 ○阿久津雅子 <sup>1</sup> ・篠田浩一 <sup>2</sup> ・村田奈芳 <sup>2</sup> ・佐藤博二 <sup>3</sup> ・星野洋一郎 <sup>3</sup> (1. 北大院農、2. 北農試、3. 北大農附属農場) ……………	72
34.	<i>Agrobacterium tumefaciens</i> によるアルストロメリアの形質転換体作出 ○星野洋一郎 <sup>1</sup> ・佐藤博二 <sup>1</sup> ・村田奈芳 <sup>2</sup> ・篠田浩一 <sup>2</sup> (1. 北大農附属農場、2. 北農試) ……………	74
35.	アルストロメリア野生種 12 種類の正逆総当たり交配による交雑親和性の解析 ○篠田浩一・村田奈芳 (北農試) ……………	76
36.	アルストロメリアの倍数化法並びに雑種検定法の検討 ○篠田浩一・村田奈芳 (北農試) ……………	78
37.	宿根かすみそう越年株における多茎仕立て法 ○桶田陽子 <sup>1</sup> ・川名淳二 <sup>2</sup> ・生方雅男 <sup>2</sup> ・鈴木亮子 <sup>2</sup> (1. 日高西部農改、2. 花・野菜技セ) ……………	80
38.	スターチス・シヌアータの栄養系苗の夜冷処理と摘芽の効果 ○桶田陽子 <sup>1</sup> ・川名淳二 <sup>2</sup> ・生方雅男 <sup>2</sup> (1. 日高西部農改、2. 花・野菜技セ) ……………	82
39.	エゾエンゴサク ( <i>Corydalis ambigua</i> Cham. et Schl.) の胚の発達と発芽に及ぼす温度の影響	

○大久保紀・近藤哲也・三浦拓・笠井登（北大院農）	84
40. 寒天入り育苗培土によるラークスパークの稚苗定植	
○三宅規文・生方雅男（花・野菜技セ）	86